

11. むつ小川原開発関連海域温排水等影響調査

A 生物調査

I 調査目的

むつ小川原開発計画により大力発電所の設置に先立ち六ヶ所村前面海域における魚類の分布回遊などを調査し、排水による影響調査の資料を得る。

II 調査内容

1. 調査期間……昭和51年7月, 10月
2. 調査海域……六ヶ所村前面海域(第1図)
3. 調査船……試験船青鵬丸(19.94トン, 170馬力)
船長 中川武光外4名
4. 担当者……調査部長 斉藤重男
船長 中川武光
5. 調査項目……(1) 海洋観測
(2) 底棲生物分布状況
(3) 発育段階別分布状況
(4) 生態調査

III 調査の結果と今後の課題

1. 調査結果

- (1) 水温…7月の表, 底層水温は15.2~18.5℃, 13.1~13.5℃, 10月は17.0~17.6℃, 17.2~17.5℃で7月の表面は3.3℃の差が認められたが, 底層は0.4℃, 10月は, 表面, 底層ともに大差はなかった。
- (2) 塩分…7月の表, 底層では, 33.245~33.935^{0/00}, 34.008~34.074^{0/00}で, 底層は高かん水である。
- (3) 水深…36~70^mであった。
- (4) 底質…すべて砂であった。
- (5) 透明度…7月は6~7^m, 10月は9~11^mである。

2. 底棲生物分布状況

- (1) 漁獲魚種(第1表)…7月はホシザメ外24種, 10月はホシザメ外13種でカレイ科が多い。
- (2) 魚種別漁獲量…7月は10.4トンで, アブラツノザメ, 10月は2トンで, ネズミコチが多く, 他はみるべきものはなかった。
- (3) 月別, 海区別, 魚種別, 漁獲量(第2図)
1海区…7月はチダイ外11種(48kg)でカレイ類, 10月はホシザメ外8種(7.3kg)で, カレイ類が主体をなしていたが, 資源は薄かった。

2 海区…7月はホシザメ外12種(39.3 Kg)でカレイ類が主体, 10月はマトウダイ外4種(4.7 Kg)で資源の分布はみるべきものはなかった。

3 海区…7月にはホシザメ外11種(29.3 Kg)でカレイ類が主体, 10月はネズミコチ外6種(15.3 Kg)で, カレイ類が主体であるが資源は薄い。

4 海区…7月にはカガミダイ外13種類(52.5 Kg)でカレイ類, 10月はイシナギ外9種(16.9 Kg)で, マコガレイが主体であるが, 資源は薄い。

5 海区…7月にはホシザメ外12種(74.2 Kg)でカレイ類の漁獲が若干みられた。10月はホシザメ外8種(23.5 Kg)で, ネズミコチ主体である。

6 海区…7月にはこれまでの海区と異なり大量のアブラツノザメ(7.5トン)外6種, 10月はカナガシラ外7種(62.3 Kg)であったが, アブラツノザメの漁獲はみられなかった。

7 海区…7月には6海区同様大量のアブラツノザメ(2.6トン)外6種で, 10月はホシザメ外12種(30.5 Kg)でカナガシラ主体, アブラツノザメの漁獲はみられなかった。

以上を総合して魚種別, 月別, 1曳網当り漁獲量, 並びに月別, 海区別, 漁獲順位をみるとつぎのとおりである。

7月…アブラツノザメ, ソウハチ, ムシガレイ, ババガレイ, マコガレイ, アンコウ, ホシザメ, アイナメ, カナガシラ。

10月…ネズミコチ, カナガシラ, ヤリイカ, マコガレイ, ムシガレイ, ホシザメ, ヒラメ, メイタガレイ, アイナメ, マトウダイ。

7月…6, 7, 5, 4, 1, 2, 3各海区

10月…6, 7, 5, 4, 3, 1, 2各海区

3. 発育段階別分布状況

(1) ソウハチ…1～7海区に分布し, 全長は7～25^{cm}, モード10～20^{cm}で最大の個体は4, 5, 6海区に出現し, 海区差がみられる。

(2) ミシガレイ…1, 3, 4海区に分布し, 全長は12～28^{cm}, モード16^{cm}で, 海区差はみられなかった。

(3) ムシガレイ…全海区に分布し, 全長は10～32^{cm}で, 海区差がみられ, 最大の個体は4海区, 1海区に出現している。

(4) マコガレイ…全海区に分布し, 全長は20～36^{cm}, モードは29, 30^{cm}で魚体差はない。最大の個体は1, 2海区に出現している。

(5) マガレイ…2～4, 6～7海区に分布し, 全長は14～25^{cm}, モード19, 23^{cm}で魚体に大きな差はない。

(6) ババガレイ…1～5海区に分布し, 全長は11～30^{cm}, モードは19～22^{cm}で, 最大の個体は5海区にみられた。

(7) ヒラメ…2, 4～7海区に分布し, 標本は僅か9尾で詳細は不明であるが, 全長は28～43^{cm}で海区差がみられる。

4. 生態調査

(1) 全長と体重

A. ソウハチ…全長は15.5～26.0^{cm}で, 平均では雌(23.7^{cm}), 雄(22.2^{cm})で体重ともに

雌が大きい。

B. ミギガレイ…全長は $13.8 \sim 20.7^{cm}$ で、平均では雌 (17^{cm})、雄 (15^{cm}) で体重ともに雌が大きい。

C. ババガレイ…全長は $18.0 \sim 27.1^{cm}$ で、平均では雌 (22.1^{cm}) で体重ともに雌が大きい。

D. ムシガレイ…全長は $12.2 \sim 33.0^{cm}$ で、平均では雌 (23.5^{cm})、雄 (21.4^{cm}) で、体重ともに雌が大きい。

E. マコガレイ…全長は $21.4 \sim 36.0^{cm}$ で、平均では雌 (28.5^{cm}) で、体重ともに雌が大きい。

(2) 食 性

A. ソウハチ…甲殻類を多く補食している。

B. ババガレイ…多毛類ついで甲殻類を補食。

C. ムシガレイ…甲殻類を多く補食している。

D. ミギガレイ…多毛類を多く補食している。

E. マコガレイ…ゴカイを多く補食している。

F. ヒラメ…魚類のみを補食している。

(3) 成熟度

A. ソウハチ…7月(5海区)で半熟個体が多い。

B. ミギガレイ…7月(3, 4, 5海区)で半, 成, 完熟個体がみられた。(夏～秋, 産卵)

2. 今後の課題

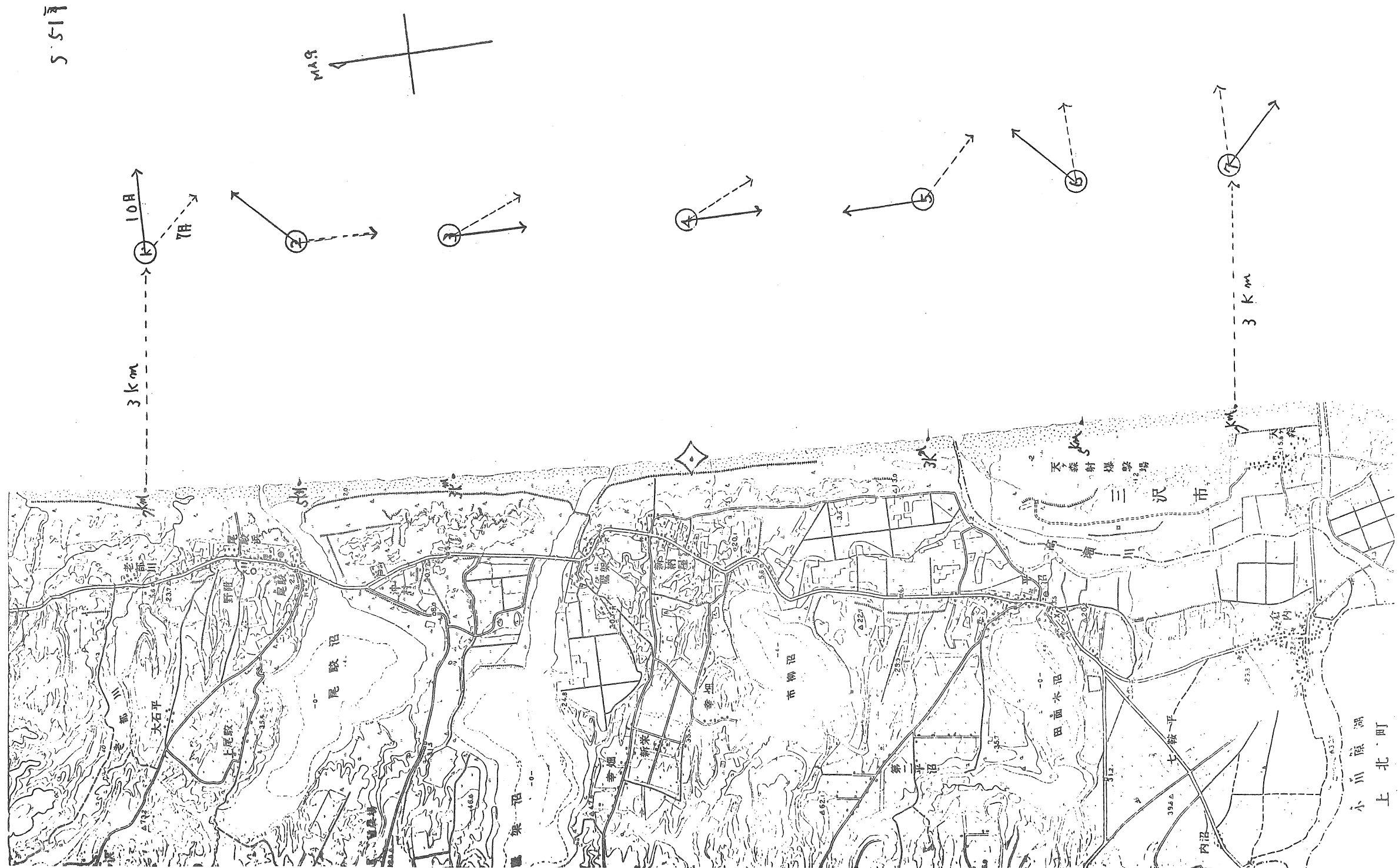
(1) 魚族の分布回遊, 生態は季節により異なると思われるので周年調査の必要がある。

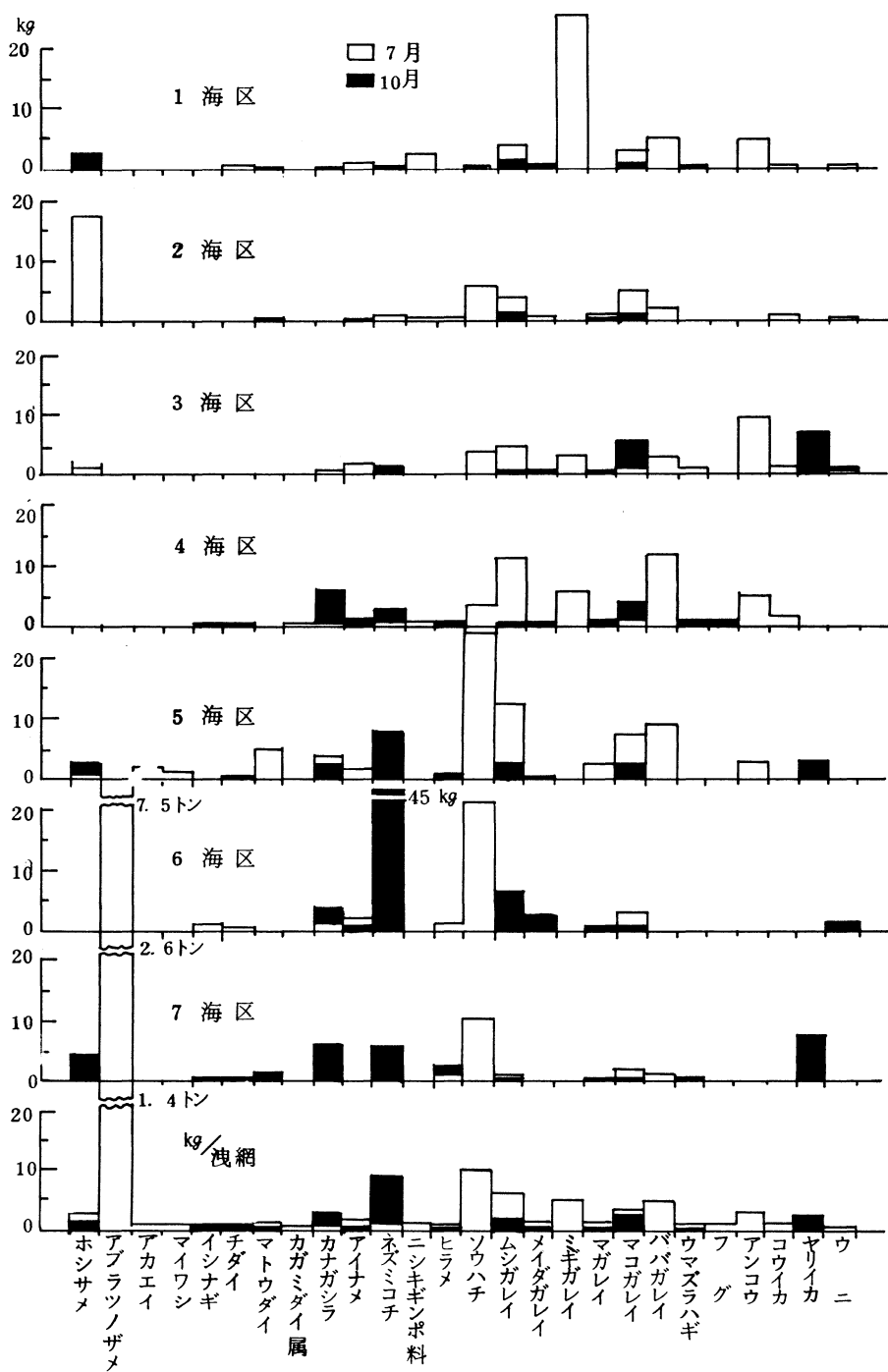
(2) 底びき網調査不可能な月は, 定置網, 刺網, 地曳網等の調査を実施すべきと思われる。

第 1 表 出 現 魚 種

ホ シ ザ メ 科○ホシザメ	<i>Mustelus manzo</i>	BLEEKER
ツ ノ ザ メ 科 アブラツノザメ	<i>Squalus acanthias</i>	TANAKA
ア カ エ イ 科 アカエイ	<i>Dasyatis akajei</i>	MULLER et HENLE
イ ワ シ 科 マイワシ	<i>Sardinops melanostecta</i>	TEMMINCK et SCHLEGEL
ス ズ キ 科○イシナギ	<i>Stereolepis ischinagi</i>	HILGENDORF
タ イ 科○チダイ	<i>Evyannis japonica</i>	TANAKA
マトウダイ科○マトウダイ	<i>Zeus japonicus</i>	CUVIER et VALENCIENNE
カガミダイ属	<i>Zenopsis</i>	GILL
ホ ウ ボ ウ 科○カナガシラ	<i>Lepidotrigle microptera</i>	GUNTHER
ア イ ナ メ 科○アイナメ	<i>Hexagrammos otahleit</i>	JORDAN et STARKS
ネ ズ ヅ ポ 属○ネズミコチ	<i>Callionymus lunatus</i>	TEMMINCK et SCELEGEL
ニシキギンボ科	<i>Pholis</i>	
ヒ ラ メ 科○ヒラメ	<i>Paralichtlys olivaceus</i>	TEMMINCK et SCHLEGEL
カ レ イ 科 ソウハチ	<i>Cleithencs pinetorumhcrensteini</i>	SCHMICT
〃 ○ムシガレイ	<i>Eopseita grigoriewi</i>	HERZENSTEIN
〃 ○メイタガレイ	<i>Pleuronichus cowtus</i>	TEMMINCK et SCHLEGEL
〃 ミギガレイ	<i>Dexistes rikuzenius</i>	JORDAN et STARKS
〃 ○マガレイ	<i>Limanda herzensteini</i>	JORDAN et SNYDER
〃 ○マコガレイ	<i>Limada yokohamae</i>	G I N T H E R
〃 ババガレイ	<i>Microstomus achne</i>	JORDAN et STERKS
カ ワ ハ ギ 科○ウマズラハギ	<i>Navodon modestus</i>	G I N T H E R
マ フ グ 科 マ フ グ	<i>Sphaeroides porphuyrsus</i>	TEMMINCK et SCHLEGEL
ア ン コ ウ 科 アンコウ	<i>Lophiomus Setigerus</i>	VAHL
ジンドウイカ科○ヤリイカ	<i>Loligo bleekeri</i>	Keferstein
コ ウ イ カ 科 コウイカ	<i>Sepia esculenta</i>	HOYLE
その他 ウ ニ○		

注. ○印は 10 月出現魚種 (7 月出現魚種を含む)





第2図 海区別 魚種別 魚獲量

第1表-1 調査結果表

昭和五十一年七月十七日	調査点 区 分		1	2	3	4	5	6	7	魚 種	漁 獲 量 (Kg)							全漁獲量	平均漁獲量	漁 獲 率 %	
											1	2	3	4	5	6	7				
	場	漁	緯 度								ホ シ ザ メ		18.0	1.5		1.0			20.5	2.9	0.2
経 度										アブラツノザメ						7,500	2,600	10,100.0	1,442.9	97.2	
水 深(m)		53～57	47～50	56～58	47～57	40～46	36～40	40～45	ア カ エ イ					2.6			2.6	0.4	—		
		底 質	S	S	S	S	S	S	S	マ イ フ シ					1.5			1.5	0.2	—	
気 候		天 候	C	C	C	C	C	C	C	イ シ ナ ギ						1.0		1.0	0.1	—	
		風 向	SW	W	SSE	S	SE	SE	SE	チ ダ イ	0.5					0.2		0.7	0.1	—	
		風 力	1	1	1	1	1	1	1	マトウダイ					4.9			4.9	0.7	0.1	
		気 温	17.0	17.2	18.2	18.2	18.5	18.4	18.5	カガミダイ属				0.05				0.05	0.01	—	
海		水 温	気 圧	1,012	1,012	1,012	1,012	1,012	1,012	1,011	カナガシラ	0.2		0.5	0.9	3.4	1.2		6.2	0.9	0.1
			塩 分	表 戸	15.2	15.3	15.9	17.0	18.0	18.0	18.5	ア イ ナ メ	1.1	0.5	1.7		2.3	2.3	0.3	8.2	1.2
	中 戸			13.9	13.7	13.6	13.9	13.8	14.3	14.1	マ ゴ チ		1.0		0.5	0.1			1.6	0.2	0.1
	底 戸	13.2		13.5	13.1	13.1	13.2	13.3	13.5	ニシキギンポ科	2.7	0.6		1.2				4.5	0.6	—	
	況	表 戸	33,931	33,935	33,889	33,317	33,245	33,287	33,548	ヒ ラ メ		0.5				1.0	0.5	2.0	0.3	—	
		中 戸	963	962	985	970	981	962	958	ソ ウ ハ チ	0.8	6.3	3.7	3.7	24.3	21.3	10.0	70.1	10.0	0.7	
		底 戸	34,011	34,008	34,011	34,074	34,008	34,022	34,013	ムシガレイ	3.9	3.7	4.5	16.2	12.5		0.7	41.5	5.9	0.4	
		透 明 度(m)	7	6	7	6	6	6	8	メイタガレイ		0.2						0.2	0.03	—	
	水 色	2	2.5	3.5	3.5	4	4	3	ミギガレイ	25.0		3.0	5.5					33.5	4.8	0.3	
		潮 流 向	S	S	SSE	SE	SE	E	NE	マ ガ レ イ		1.1		0.5	2.5				4.1	0.6	—
担当者 藤部 長	潮 流 速								マコガレイ	2.7	4.7	0.9	0.9	7.2	2.8	1.5	20.7	3.0	0.2		
		曳 網 長	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	ババガレイ	5.3	1.8	2.5	16.5	9.3		0.3	35.7	5.1	0.3	
	漁	投網開始時	05.20	06.50	08.20	09.48	11.25	12.50	16.44	ウマズラハギ			0.1	0.1				0.2	0.03	—	
		投網終了時	05.30	07.00	08.30	09.58	11.34	13.00	16.54	フ グ				0.2				0.2	0.03	—	
		網 待 時 間	2	10	10	5	10	17	2	ア ン コ ウ	4.5		9.5	4.7	2.6			21.3	3.0	0.2	
		曳 網 方 向	SE	S	SSE	SSE	SE	E	E	そ の 他											
	法	曳 網 時 間	10	15	10	12	11	10	12	コ ウ イ カ	0.5	0.7	1.0	1.5				3.7	0.5	—	
		揚網開始時	05.42	07.25	08.50	10.15	11.55	13.27	17.08	ウ ニ	0.5	0.2	0.4					1.1	0.2		
		揚網終了時	06.15	07.55	09.15	10.43	12.24	13.59	17.33	計	47.7	39.3	29.3	52.45	74.2	7,529.8	2,613.3	10,386.05			
	備 考																				

第1表-2 調査結果表

昭和五十一年十月十六、十七日	調査点 区 分		1	2	3	4	5	6	7	魚 種	漁 獲 量 (Kg)							全漁獲量	平均漁獲量	漁 獲 率 %
											1	2	3	4	5	6	7			
	漁 場	緯 度									ホ シ ザ メ	2.5				3.0		4.0	9.5	1.4
経 度										イ シ ナ ギ				0.4			0.4	0.8	0.1	0.5
水 深(m)		58～70	63～60	43～50	43～45	46～42	38～35	37～43	チ ダ イ				0.3	0.2			0.5	1.0	0.1	0.6
底 質		S	S	S	S	S	S	S	マトウダイ	0.1	1.0						1.3	2.4	0.3	1.5
気 象	天 候	b	b	b	b	b	b	c	カナガシラ	0.2			6.0	2.8	4.0	5.8	18.8	2.7	11.7	
	風 向	W	NW	W	NW	NW	NW	W	ア イ ナ メ	0.2	0.4		1.4		1.0	0.4	3.4	0.5	2.1	
	風 力	2	2	1	2	2	4	4	ネズミコチ	1.0		1.5	3.0	8.0	45.0	6.2	64.7	9.2	40.4	
	気 温	19.8	17.0	16.5	17.0	17.5	16.0	17.3	ヒ ラ メ				1.0	0.3		2.4	3.7	0.5	2.3	
	気 圧	1,020	1,020	1,019	1,019	1,020	1,020	1,020	ムシガレイ	1.5	1.4	1.2	0.6	3.0	6.4	0.8	13.9	2.0	8.7	
海 況	水 温	表 戸	17.6	17.6	17.4	17.6	17.0	17.2	17.2	マ ガ レ イ		0.4	0.1	0.1		0.1	0.6	1.3	0.2	0.8
		中 戸								マコガレイ	1.2	1.5	5.4	4.0	3.0	1.5	0.6	17.2	2.5	10.8
		底 戸	17.5	17.4	17.4	17.4	17.2	17.3	17.3	メイタガレイ	0.3		0.1	0.1	0.2	2.9		3.6	0.5	2.2
	塩 分	表 戸	33.729	33.613	33.433	33.487	33.504	33.431	33.464	ウマズラハギ	0.3						0.1	0.4	0.1	0.2
		中 戸								ヤ リ イ カ			7.0		3.0		7.4	17.4	2.5	10.9
		底 戸	33.751	33.725	33.710	33.706	33.595	33.631	33.631											
	透 明 度(m)	9	9	7	11	10	9	9	ウ ニ			1.0			1.4		2.4	0.3	1.5	
水 色	3	4	4	4	4	4.5	4.5													
潮 流 向	NE	N	SE	SE	NW	W	SE													
潮 流 速																				
担 当 者 藤 重 男	漁 法	曳 網 長	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000												
		投網開始時	10.20	11.37	12.55	14.17	08.05	9.27	10.32											
		投網終了時	10.30	11.47	13.05	14.27	08.15	9.37	10.42											
		網 待 時 間	5	5	5	5	5	5	5											
		曳 網 方 向	E	NE	S	S	N	NE	SE											
	曳 網 時 間	10	13	15	11	17	10	13	計	7.3	4.7	15.3	16.9	23.5	62.3	30.5	160.5			
	揚網開始時	10.45	12.05	13.25	14.43	08.37	09.52	11.00												
揚網終了時	11.12	12.33	13.50	15.10	09.05	10.12	11.30													
備 考																				

B 底 質 調 査

I 調査目的

火力発電にかゝる温排水，港湾建設の際の濁水等が拡散すると予想される水域の事前の状況を把握する。

II 調査内容

1. 調査期間 昭和51年10月16～18日

2. 調査海域および調査点

第1図に示したように，予想排水口を中心に南北各3Km，沖出し2Kmに51の調査点を設定した。

3. 担当者 淡水養殖部長 長 峰 良 典

技 師 原 口 健 二

技 師 山 口 伸 二

4. 調査項目 水深，全硫化物，水分，COD，強熱減量，有機物，粒度組成

III 調査の結果と今後の課題

測定値は第1～5表に示した。

(1) 全硫化物

51調査点のうち36点が不検出であった。検出された15点の中でも最高は $0.009 \frac{mg}{g}$ ／乾泥 g で極めて低い値であった。

(2) COD

$0.03 \sim 2.92 \frac{mg}{g}$ ／乾泥 g ，平均 $0.92 \frac{mg}{g}$ ／乾泥 g で極めて低い値であった。

(3) 有機物，強熱減量

有機物は $0.16 \sim 0.64 \%$ ，平均 0.41% ，強熱減量は $0.15 \sim 2.84 \%$ ，平均 1.76% で何れも低い値であった。

(4) 粒度組成

この海域の底質は中央粒径値が $0.14 \sim 0.19 \text{ mm}$ の細粒砂で，全般を見ても径 2 mm 以上の礫は見当らなかった。淘汰系数は $1.3 \sim 1.4$ で良好であった。すなわちこの海域の水の流れがほぼ一定の速度を保ち，粒子の揃った砂が堆積していることをあらわしている。

以上のようにこの海域の底質は極めて清浄で汚染の徴候は全く見られなかった。

COD，強熱減量，有機物の水平分布はそれぞれ同じような傾向を示し，沖側が高かった。（第1～3図）また全硫化物，泥含有率は第3～4図に示したように浅い部分に高いところが見られた。これらの原因については今後調査を続けることによって明らかに出来るものと考えている。

第 1 表－1 底 質 分 析 表

観 測 点	観測日時	外 観	水 深 (<i>m</i>)	水分含量 (%)	全硫化物 (<i>mg</i> HS/ <i>g</i> 乾泥)	C O D (<i>mg</i> O ₂ / <i>g</i> 乾泥)	強熱減量 (%)	有 機 物 (%)	備 考
N3 0.5	S 51.10.16	砂	10.0	19.86	ND	0.96	1.12	0.35	
1.0		砂	20.0	23.59	ND	0.22	1.70	0.32	
1.5		砂	30.0	23.19	ND	0.58	1.73	0.34	
N2.5 0.5		砂	15.0	21.40	ND	0.43	1.10	0.31	
1.0		砂	20.0	21.36	ND	0.22	1.63	0.36	
1.5		砂	23.0	27.73	ND	1.24	2.34	0.41	
2.0		砂	27.0	32.26	ND	1.67	2.84	0.52	
N2.0 0.5		砂	10.0	23.45	ND	0.14	1.86	0.46	
1.0		砂	20.0	23.09	ND	0.31	1.71	0.30	
1.5		砂	27.0	25.92	ND	0.73	2.04	0.43	
2.0		砂	32.0	29.23	ND	1.23	2.16	0.45	
N1.5 0.5		砂	10.0	23.28	0.0002	0.78	1.65	0.44	
1.0		砂	19.0	23.56	ND	0.21	1.72	0.29	
1.5		砂	24.0	23.18	ND	0.54	1.66	0.30	
2.0		砂	30.0	27.77	ND	0.93	1.99	0.35	
N1.0 0.5		砂	9.0	20.43	0.0002	0.10	1.55	0.22	
1.0		砂	15.0	21.69	ND	0.03	1.22	0.37	
1.5		砂	18.0	24.84	ND	0.81	1.89	0.36	
2.0		砂	30.0	28.32	ND	0.78	2.24	0.44	
N0.5 0.5	S 51.10.17	砂	10.0	22.19	ND	0.59	1.42	0.35	
1.0		砂	20.0	23.31	ND	0.33	1.76	0.35	

第 1 表 - 2 底 質 分 析 表

觀 測 点	觀測日時	外 觀	水 深 (<i>m</i>)	水分含量 (%)	全硫化物 (<i>mg</i> HS/ <i>g</i> 乾泥)	C O D (<i>mg</i> O ₂ / <i>g</i> 乾泥)	強熱減量 (%)	有 機 物 (%)	備 考
N0.5 1.5	S 51.10.17	砂	30.0	30.22	ND	1.81	2.62	0.46	
2.0		砂	35.0	24.30	ND	1.07	1.82	0.38	
N0 0.5		砂	11.0	22.21	0.0009	0.73	1.32	0.36	
1.0		砂	17.0	24.34	ND	0.89	1.77	0.60	
1.5		砂	26.0	30.78	ND	1.18	2.40	0.61	
2.0		砂	34.0	29.24	ND	1.20	2.20	0.64	
S0.5 0.5		砂	10.0	23.74	0.0052	0.52	1.42	0.35	
1.0		砂	16.0	21.92	ND	0.46	1.54	0.38	
1.5		砂	25.0	27.32	0.0005	1.41	2.35	0.46	
2.0		砂	30.0	27.81	ND	1.31	2.17	0.54	
S1.0 0.5		砂	10.0	19.18	0.0008	0.74	1.23	0.33	
1.0		砂	17.0	21.13	ND	1.06	1.54	0.35	
1.5		砂	25.0	27.44	ND	1.47	2.36	0.58	
2.0		砂	30.0	23.27	ND	0.82	1.48	0.41	
S1.5 0.5		砂	10.0	20.33	0.0004	0.98	1.09	0.30	
1.0		砂	18.0	24.14	ND	0.92	1.79	0.44	
1.5		砂	25.0	26.03	ND	2.00	2.02	0.53	
2.0		砂	30.0	22.55	ND	0.71	1.65	0.44	
S2.0 0.5		砂	10.0	18.91	0.0002	0.20	0.15	0.16	
1.0		砂	16.0	22.23	ND	0.55	1.75	0.45	
1.5		砂	24.0	30.42	ND	1.51	2.76	0.63	

第 1 表 - 3 底 質 分 析 表

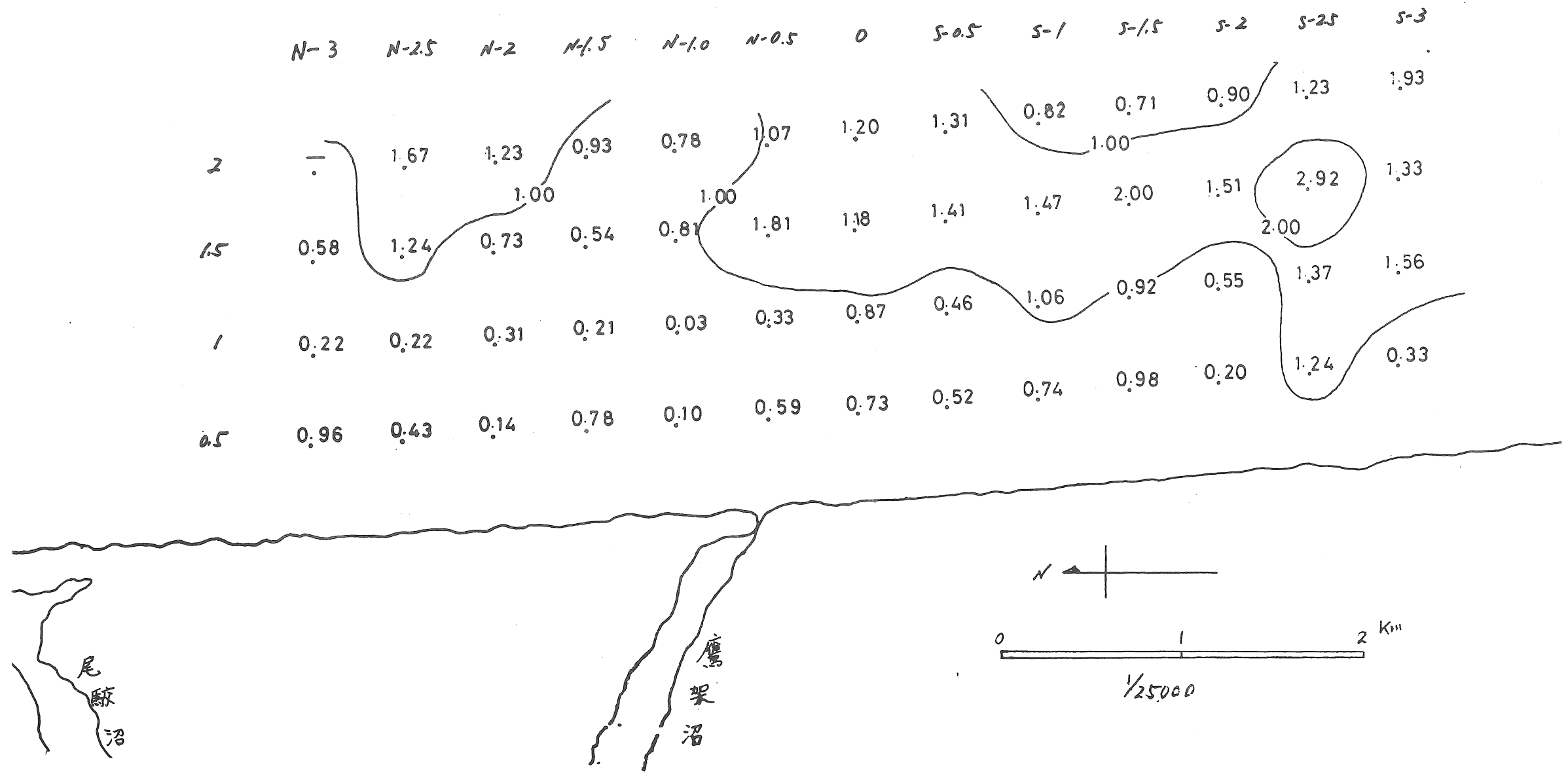
觀 測 点	觀測日時	外 觀	水 深 (m)	水分含量 (%)	全硫化物 (mg HS / g 乾泥)	C O D (mg O ₂ / g 乾泥)	強熱減量 (%)	有 機 物 (%)	備 考
S 2 2.0	S 51.10.18	砂	30.0	22.45	ND	0.90	1.96	0.43	
S 2.5 0.5		砂	8.0	21.81	0.0004	1.24	1.29	0.37	
1.0		砂	10.0	21.17	0.0027	1.37	1.16	0.38	
1.5		砂	22.0	25.64	0.0002	2.92	2.00	0.59	
2.0		砂	30.0	23.26	ND	1.23	1.60	0.54	
S 3 0.5		砂	6.0	21.51	0.0004	0.33	1.16	0.38	
1.0		砂	10.0	25.80	0.0098	1.56	1.98	0.60	
1.5		砂	22.0	27.05	0.0001	1.33	1.93	0.44	
2.0		砂	28.0	24.33	0.0005	1.93	1.93	0.42	

第2表-1 粒度分析結果

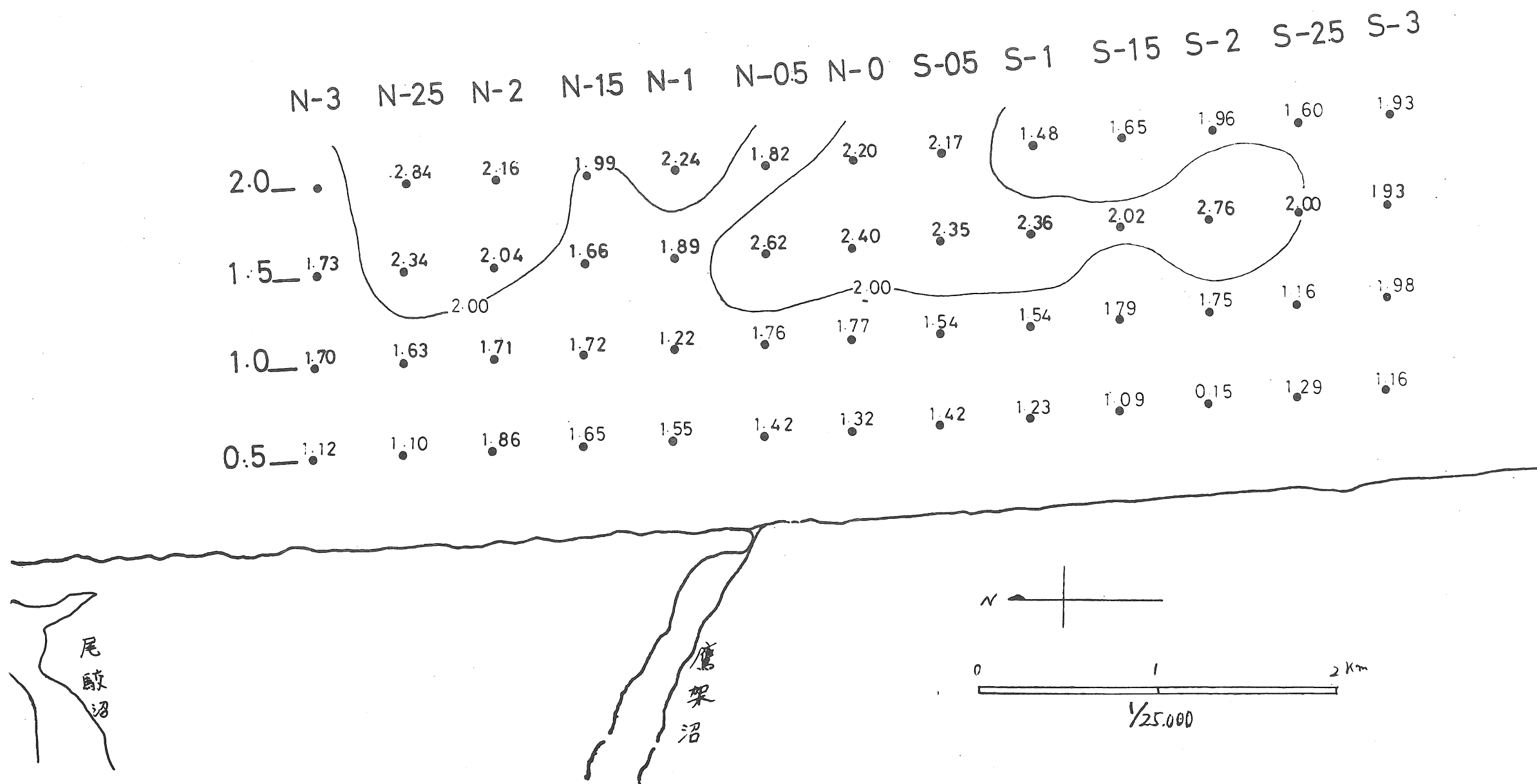
調査地点	極粗粒砂 2 ↔ 1 mm	粗粒砂 1 ↔ 0.5 mm	中粒砂 0.5 ↔ 0.25 mm	細粒砂 0.25 ↔ 0.125 mm	微粒砂 0.125 ↔ 0.063 mm	粗粒シルト 0.063 ↔ 0.037 mm	中粒シルト 0.037 > mm	中央粒径値 mm	備考 (淘汰係数)
N3 -0.5	1.17	2.95	5.24	67.13	22.95	0.48	0.08	0.167	1.29
N3 -1.0	0.05	0.31	3.37	84.23	11.67	0.30	0.07	0.172	1.22
N3 -1.5	0.22	1.16	6.41	85.92	5.95	0.23	0.11	0.178	1.22
N3 -2.0									(採泥不能)
N2 -0.5	1.02	4.59	18.18	64.04	10.88	1.21	0.08	0.189	1.30
N2 -1.0	0.06	0.27	2.42	81.47	15.35	0.39	0.04	0.166	1.24
N2 -1.5	0.23	0.76	4.25	86.11	8.27	0.27	0.11	0.176	1.22
N2 -2.0	0.47	3.27	8.56	80.82	6.44	0.33	0.11	0.180	1.24
N1 -0.5	1.32	8.62	11.38	66.42	11.71	0.42	0.13	0.187	1.30
N1 -1.0	0.45	1.12	2.47	74.54	20.79	0.56	0.07	0.163	1.27
N1 -1.5	0.15	0.62	2.67	80.52	15.43	0.48	0.13	0.167	1.24
N1 -2.0	0.15	1.46	7.80	79.35	10.74	0.41	0.09	0.176	1.24
N0.5 -0.5	0.19	0.76	1.83	73.21	22.78	1.11	0.12	0.160	1.27
N0.5 -1.0	0.14	0.52	3.60	85.12	10.04	0.45	0.13	0.174	1.23
N0.5 -1.5	0.33	1.52	5.78	82.91	9.04	0.29	0.13	0.174	1.23
N0.5 -2.0	1.00	2.95	5.91	84.80	4.96	0.30	0.08	0.180	1.22
N0 -0.5	0.16	0.85	2.10	66.94	28.17	1.67	0.11	0.154	1.37
N0 -1.0	0.07	0.35	1.82	80.43	16.51	0.70	0.12	0.167	1.23
N0 -1.5	0.77	4.33	12.11	75.25	7.14	0.30	0.10	0.183	1.27
N0 -2.0	0.60	2.25	6.08	87.17	3.45	0.34	0.11	0.180	1.22
S0.5 -0.5	0.31	1.05	3.10	66.64	26.94	1.86	0.10	0.157	1.34

第2表-2 粒 度 分 析 結 果

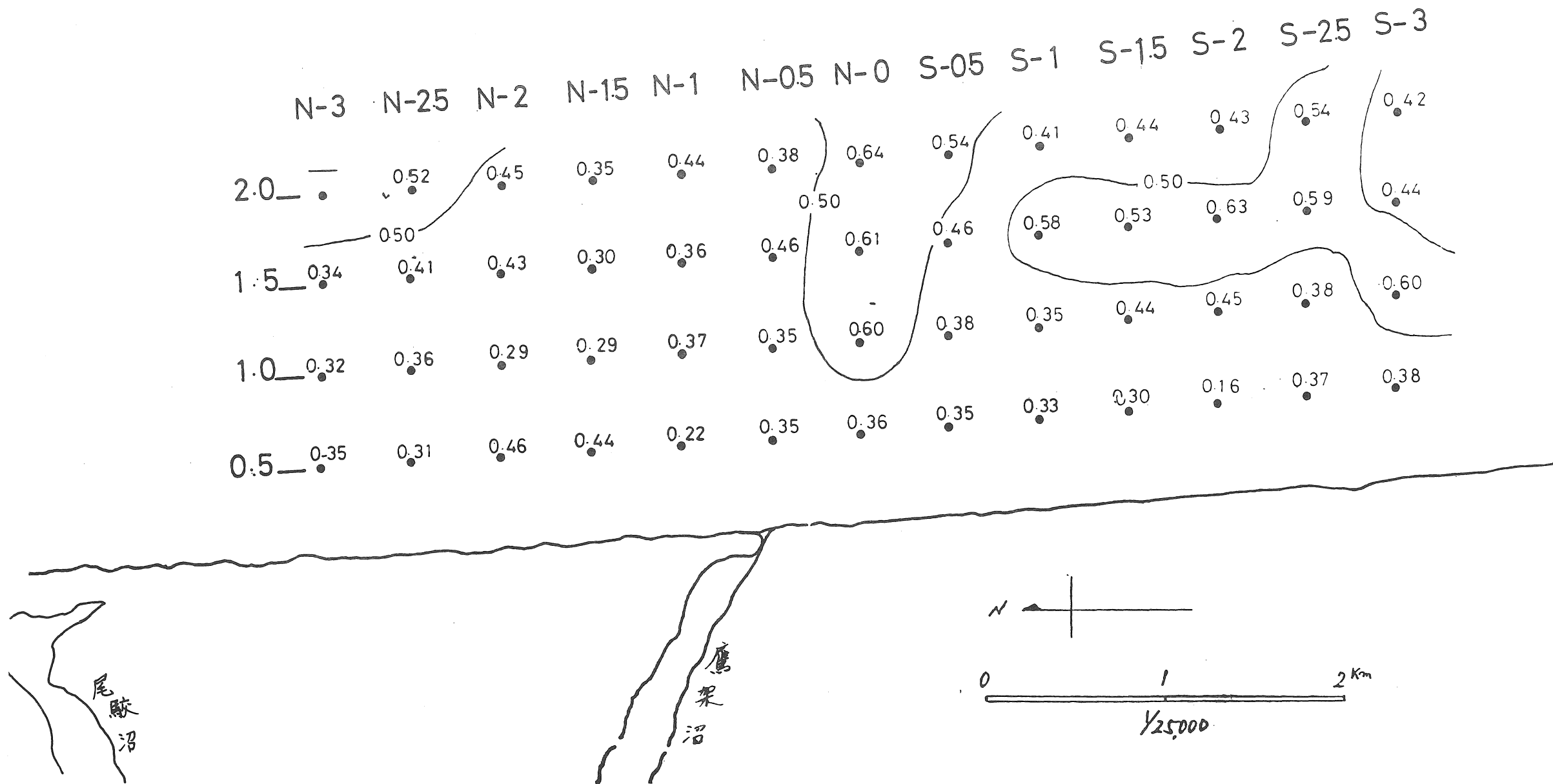
調査地点	極粗粒砂 2 ↔ 1 mm	粗 粒 砂 1 ↔ 0.5 mm	中 粒 砂 0.5 ↔ 0.25 mm	細 粒 砂 0.25 ↔ 0.125 mm	微 粒 砂 0.125 ↔ 0.063 mm	粗粒シルト 0.063 ↔ 0.037 mm	粘 土 0.037 > mm	中央粒径値 mm	備 考
S05-1.0	0.09	0.17	2.08	76.79	203.5	0.40	0.12	0.164	1.25
S05-1.5	0.46	2.49	9.79	76.40	103.5	0.39	0.12	0.178	1.26
S05-2.0	0.21	1.48	4.12	82.34	115.0	0.27	0.08	0.173	1.23
S1 -0.5	0.66	1.34	5.78	70.31	207.5	1.04	0.12	0.165	1.28
S1 -1.0	0.12	0.21	1.35	73.80	238.7	0.53	0.12	0.162	1.26
S1 -1.5	0.74	2.59	5.83	76.04	142.3	0.47	0.10	0.173	1.26
S1 -2.0	0.60	0.86	7.12	75.75	150.7	0.48	0.12	0.172	1.26
S1.5-0.5	0.42	0.88	2.89	72.34	222.9	1.15	0.03	0.162	1.30
S1.5-1.0	0.05	0.24	1.85	74.45	228.2	0.54	0.05	0.160	1.26
S1.5-1.5	0.32	1.14	3.64	77.67	166.2	0.57	0.04	0.168	1.24
S1.5-2.0	0.23	0.91	1.97	81.84	145.2	0.51	0.02	0.168	1.24
S2 -0.5	0.51	46.6	124.0	66.65	149.0	0.75	0.13	0.191	1.38
S2 -1.0	0.08	0.94	22.76	54.98	206.3	0.49	0.12	0.180	1.37
S2 -1.5	0.35	1.50	6.32	74.12	168.7	0.78	0.06	0.170	1.23
S2 -2.0	0.18	0.70	1.87	83.89	126.9	0.57	0.10	0.171	1.23
S3 -0.5	0.00	0.44	2.69	70.12	261.2	0.58	0.05	0.159	1.29
S3 -1.0	1.31	1.10	2.30	57.14	361.0	1.97	0.08	0.145	1.42
S3 -1.5	0.22	0.89	4.23	75.54	184.1	0.63	0.08	0.165	1.26
S3 -2.0	0.17	0.50	1.96	80.43	162.5	0.60	0.09	0.167	1.25



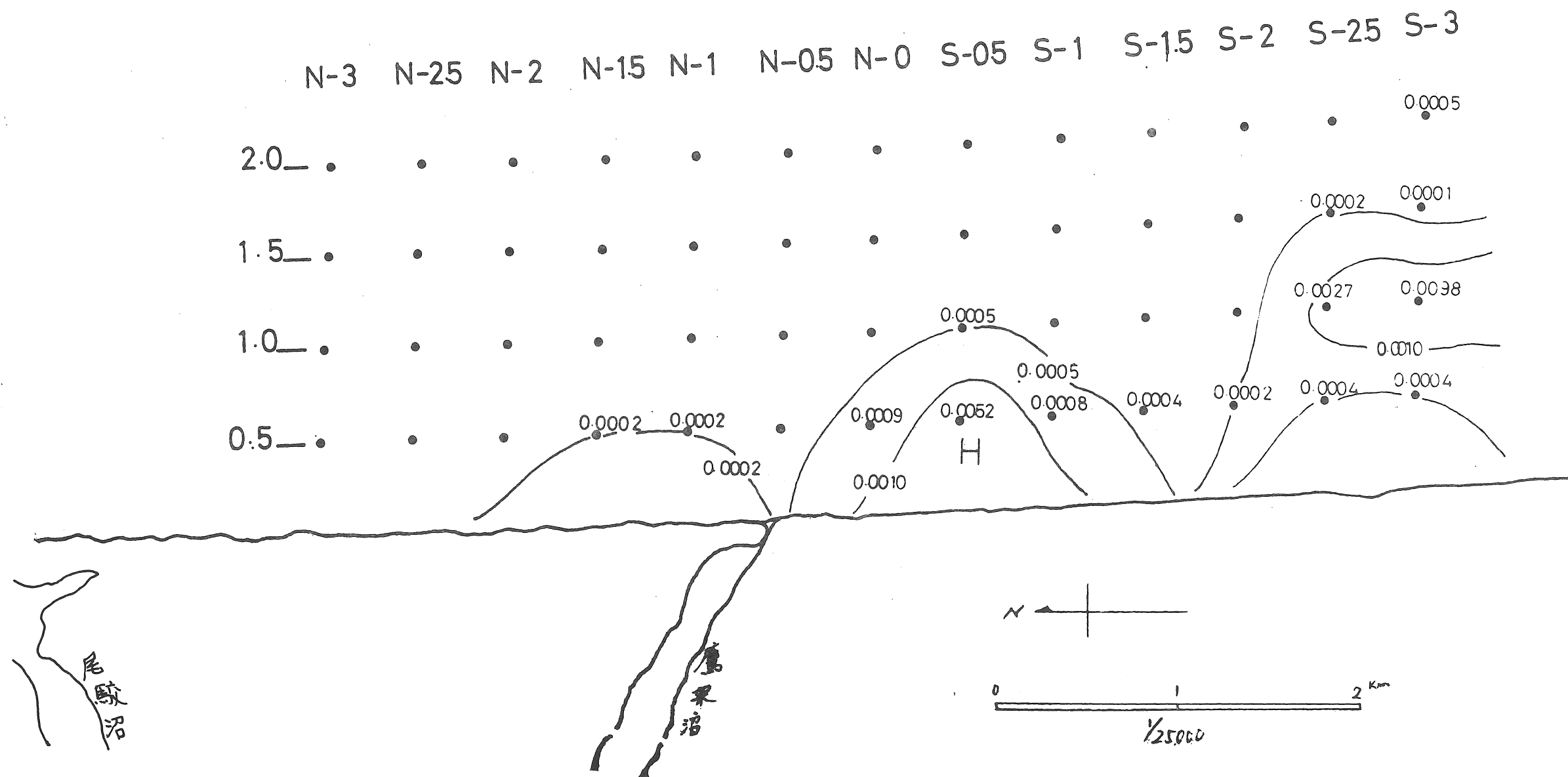
第1图 C O D 分 布 单 位 $mg \cdot O_2 / g \cdot dry \ base$



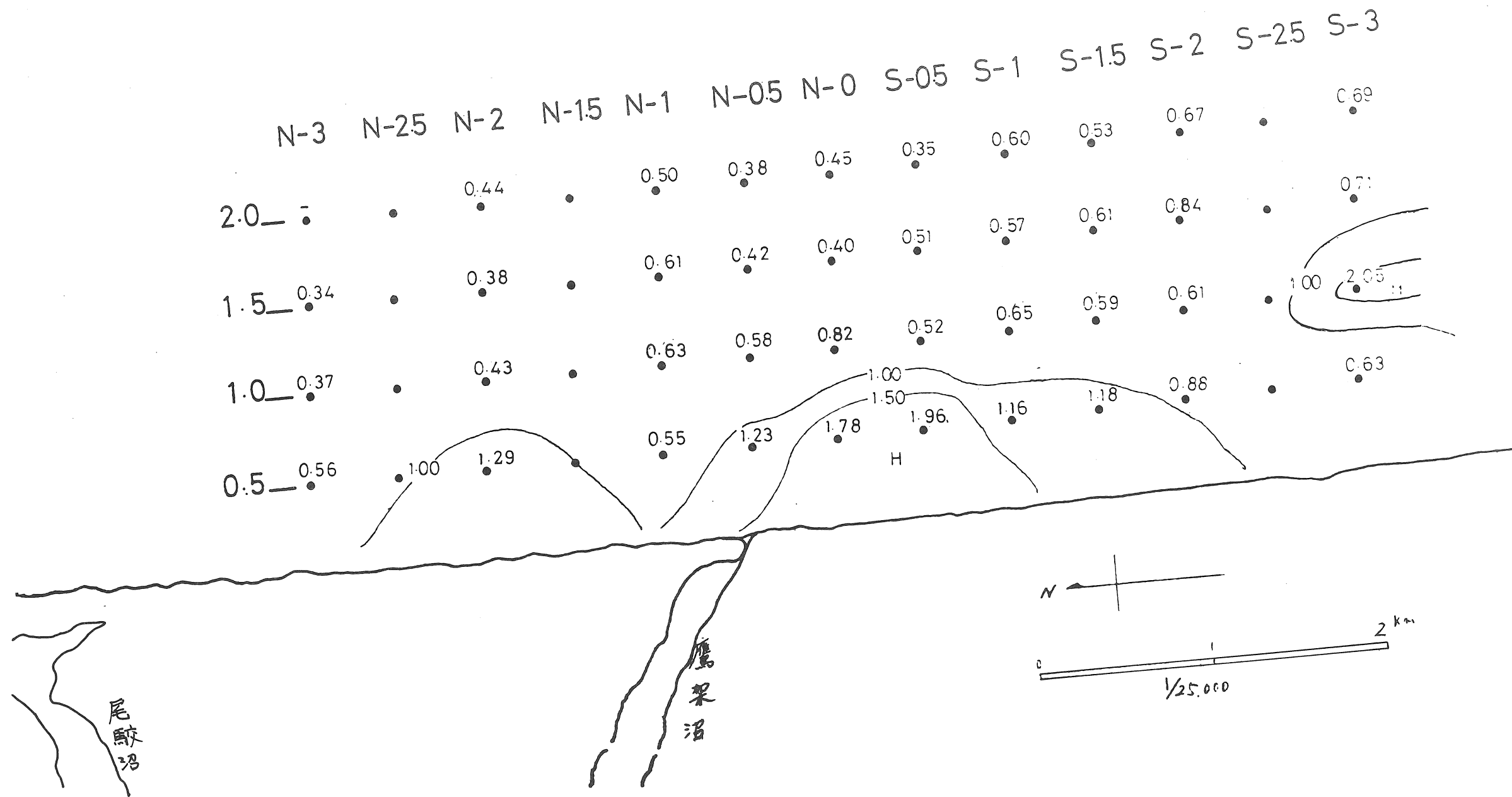
第2图 强 热 减 量 分 布 单 位 %



第3圖 有機物分布單位%



第4図 全硫化物分布 単位 $\text{mg} \cdot \text{H}_2\text{S} / \text{g} \cdot \text{dry base}$



第5図 泥含有率分布単位%